

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-1		事業名	家庭教育事業						
担当	教)生涯学習部生涯学習推進課 山田 211-3872									
全体計画										
事業内容	<p>家庭における教育力の向上のため、家庭教育の知識、子どもの心の理解、親の役割などについて自主学習する場として、幼稚園児、小学生、中学生を持つ親等を対象に、各学校・園のPTAを単位として計画的・継続的に学習する「家庭教育学級」を実施する。</p> <p>この家庭教育学級は、「家庭教育に関して自主的に学習する場」であるとともに、子育てなどに関する情報交換を行う「ネットワークづくりの場」であり、園や学校に足を運ぶことで、家庭以外での子どもの様子や教育環境を知ることができる「子どもに関する情報収集の場」としても活用されている。</p> <p>このように様々な学習活動や人との出会いを通じて、親自身が成長し、「親の育ちが子の育ち」へとつながるという家庭教育の理念の実現を図っている。</p>			＜年度別の事業内容＞						
				平成19年度 開設学級数	206学級	平成20年度 開設学級数	208学級	平成21年度 開設学級数	210学級	平成22年度 開設学級数
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)				平成20年度事業内容(予算)					
	<p>開設学級数 210学級 (幼稚園 30園、小学校 143校、中学校 37校)</p> <p>それぞれの家庭教育学級では、自ら学習計画を策定し、家庭教育に関する講演会、学習会のほか、親子体験学習を実施するなど、多彩な活動を展開した。</p> <p>また、合同の研修会や学習会などを実施し、各学級の運営及び学習活動を支援した。</p> <p>事業費(決算額) 15,812千円</p>				<p>平成20年度 開設学級数 208学級</p> <p>・各学級の運営及び学習活動に対する助言、指導 ・学級代表者の交流会の実施 ・研修会・合同学習会の実施</p> <p>・事業費(予算額) 15,826千円</p>					
達成目標の状況										
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)			
家庭教育学級数		206学級	210学級	208学級	210学級	214学級	214学級			
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)										
<p>市民との連携、市民参加 自主的な集団活動の中で、計画的・継続的に学習することを促進している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各家庭教育学級の活動実績を集約し、交流会などの場で情報提供を行っている。 また、家庭教育学級や家庭教育支援に関する情報をホームページなどで提供している。</p>										

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-1			事業名	家庭教育事業
評価(成果)				課題		
<p>幼稚園・小学校・中学校あわせて200学級以上の家庭教育学級を開設し、家庭教育に関する学習する場、子育てについて気軽に情報交換できる場として活用されている。</p> <p>子どもの心身の成長は親自身の育ちにあるという認識のもとに、親自身が相互に協力しながら自主的・継続的に学習を進めることにより、家庭における教育力の向上が図られている。</p>				<p>未開設校への家庭教育学級のPR 現在開設している家庭教育学級の継続・維持 活動のマンネリ化や費用抑制に関する工夫</p>		
今後の事業の予定・方向						
<p>家庭や地域社会における教育力の低下が懸念されており、子育てに関する悩みや不安について、親たちが気軽に情報交換し、相互に学びあう機会も不足している。また、教育基本法の改正により家庭教育に関する条項が新設され、家庭教育に対する支援がますます重要となっている。</p> <p>このような状況に対処するため、家庭教育の知識、子どもの心の理解、親の役割などについて自主学習する場として、幼稚園児、小学生、中学生を持つ親たちを対象に、各学校・園のPTAを単位として計画的、継続的に学習する家庭教育学級事業を引き続き実施し、家庭での教育力の向上を図る。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳	国・道支出金				
		市債				
		その他				
予算	事業費	15,981	15,826	-	-	31,807
	財源内訳	国・道支出金	0	0		0
		市債	0	0		0
		その他	37	28		65
一般財源	15,944	15,798			31,742	
実績	事業費	15,812	-	-	-	15,812
	財源内訳	国・道支出金	0			0
		市債	0			0
		その他	29			29
一般財源	15,783				15,783	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						